

館長のガラストーク

妖精の森ガラス美術館 館長 畠山 耕造

「ひかりのかたち展 2016年」について

「ひかりのかたち展 2016年」から、今回は西側展示ケースの作品をご紹介します。

中央に塔のように立ち上がっているのは三浦侑子さんの「祈りのうつわI」。細かい気泡を含んだ素地にリューターで葉っぱの模様が浅く彫り込まれています。三浦さんは透明ガラスをそのまま使うことは少なく、リューターで浅い模様を彫り込んだり、白色ガラスで濃淡を付けたり、気泡を入れ込んで変化をつけています。リングや洋ナシのオブジェでは、泡の多い中央部を少し気泡が少ないガラスが取り巻き、外郭の部分はなんどもヘラで叩いて複雑な輪郭線を形作ることで、輪郭線の揺らぎと素地のきめ細かな質感とがガラスの硬さや冷たさを和らげ、作品全体に柔らかなイメージを醸し出しています。

三垣祥太郎さんの作品は、ヴェネチアの「レティチェロ」という、反対方向の渦巻模様を持つボウルを二つ重ねて交差模様を作るという高度な技で作られています。「格子紋様大皿」では、かなり大きな作品にこの繊細な技法が用いられていて、完成度と相まって迫力満点です。

野上真理子さんは、普段から得意にしている「妖精」や「花」、「蝶」などのモチーフをパーナーで慎重にしかも手早く形作っています。妖精の森ガラスを使うということで、蛍光しやすいようふだんより少し厚めにした所に苦労があったようです。

花岡央さんの作品は「RENのシリーズ」という京都の町家の連子格子れんじごしにヒントを得たストライプの作品です。透明な部分と不透明な部分がお互いを区切りつつ互いに自己主張するという面白さが十分に発揮されています。色ガラスの粉末による外側の着色には、陶器の釉薬のような肌合いが感じられます。

この展覧会は4月3日で終了します。全体を紫外線の照明でご覧いただくのは余りないので、この機会にぜひご覧ください。



画面左より 野上真理子「妖精の森」
三垣祥太郎「格子紋様大皿」
三浦侑子「祈りの形I」



画面左より 三浦侑子「洋ナシ」「リング」
「オパールゴブレット」「祈りの形II」
花岡央「renのシリーズ」「ワイングラス」「水差し」

〈展覧会情報〉平成28年度冬期企画展 「ひかりのかたち展2016年」 2017年4月3日(月)まで

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 電話(0868)44-7888

すまいるの 進級お祝い会に

チャーリーさんが
やってくるよ~!!

日時：2017.3.29(水)10:30~

場所：鏡野町子育て支援センター「すまいる」

対象者：未就学児とその保護者

予約が必要です。3月24日メ切

利用料：100円が必要です。



風天の大道芸人チャーリーさんが
来場!! バルーンアートやジャグリン
グなどを織り交ぜた楽しい
ショーを開催♥

(チャーリーさん) 岡山県を拠点に
活動をしています。

主催：鏡野町・鏡野町教育委員会 鏡野町子育て支援センター

お問合せ・申し込み先：鏡野町子育て支援センター TEL&FAX (0868) 54-4035

